第 3 回　まちづくり連続講座　　主催・日本共産党京都市会議員団

人口減少も経済停滞も防ぎえない
食いつぶし型規制緩和を問う

京都のまちづくりの現状をどのように見たらいいのか、住み続けられる京都市をつくっていくためにどうしたらいいのか、おおもとにある国の政策はどうなっているのか、皆さんと考えるための公開連続講座を開きます。

第３回目は京都市の都市計画の規制緩和問題について考えます。

京都市は 2007 年に全国に先駆けて新景観政策を策定し、100 年後を見据えた規制強化によるダウンゾーニングでまとまりのある住みやすいまちづくりを進めてきました。

ところが市長は、京都南部を５つのゾーンに分けて規制緩和を提案しています。京都市の人口減少、特に子育て世代の人口流出が新景観政策にあったかのような詭弁を弄し、高さ規制の緩和だけではなく、用途地区や容積率までも大きく緩和し、まち壊しを進めようとしています。

本気で都市の再生を考えるのなら、今すべきことは何か。まちづくりの専門家においでいただいて、問題点を分析していただきます。

ぜひご参加いただいて、ご一緒にまち壊しをストップしましょう！

日時：**11 月 15 日**（火）　午後６時 30 分～８時

場所：京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都** 第４・５会議室

講師：**中林　浩** さん（元神戸松蔭女子学院大学教授、京都自治体問題研究所理事）

※ ZOOM で参加希望の方は、日本共産党京都市会議員団までメールで申し込んでください。（市議団の Email：info@cpgkyoto.jp）

※なお、会場参加される方もコロナの感染対策の関係上、できる限り事前に参加のご連絡を頂きますようお願いします。

京都市がこの計画についての市民意見を募集しています詳細はこちら↓

https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/tokei/0000303406.html

日本共産党京都市会議員団

TEL 075-222-3728・FAX 075-211-2130・Email: info@cpgkyoto.jp